



埼玉県立浦和西高等学校  
Urawanishi High School

発行日 平成29年12月19日

学校通信 ～西高は今～

発行責任者 校長 高野 能弘

HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

さまざまな出来事があった2学期。西高生の輝き  
が際立った今年もしめくくりを迎えています。

### 1 トップアスリート講演会 (11/20)

11月20日(月)、県教委主催のスポーツ教養  
セミナー「トップアスリート講演会」が市民会館お  
おみやで開催されました。これは、東京2020オ  
リンピック・パラリンピックを見据えて、第一線で  
活躍されたスポーツ選手の講演から、生徒の視野を  
広げさせて、リーダーにふさわしい豊かな人間性を  
育成することを目的として実施されるものです。

「骨太のリーダーを育成する高校生のための埼玉  
版リベラルアーツ事業」指定校である本校からはサ  
ッカー部員50名が参加しました。為末大氏による  
講演「ハードルを越える～高校生に伝えたいこと～」  
を拝聴し、生徒たちは大変刺激を受けた様子でした。  
また、講演会の模様は、NHK「首都圏ニュース8  
45」でも放映されました。



### 2 小学校交流 (11/12～29)

本年度も、近隣小学校との交流事業を実施しまし  
た。これは、本校の生徒が、2日間、小学校を訪問  
し、担任の先生の補助をつとめ、小学生との交流を  
深めるといふものです。今年度はあらたに木崎小学  
校との交流がはじまりました。

11月20日(火)・21日(水)には、さいた  
ま市立大東小学校へ、11月27日(月)・28日  
(火)にはさいたま市立木崎小学校へ、11月28  
日(火)・29日(水)にはさいたま市立上木崎小  
学校へそれぞれ13名、計39名の生徒が訪問し、  
交流を行いました。参加生徒は、教育学部進学を希

望している生徒で、その意識の高さを各小学校では  
高く評価していただいています。生徒はとても貴重  
な経験となったとの感想を述べています。



### 3 生徒総会 (11/24)

11月24日(金)の6・7限、生徒総会が開催さ  
れました。重要議題として「生徒会会則の改定」  
が提案され、承認されました。その後、生徒会本部・  
議長団・審査・各委員会から、前期活動報告及び後  
期活動方針が示され、承認されました。

### 4 みんなでゴスペル (11/25)

11月25日(土)、PTA文化部特別企画「み  
んなでGOSPEL～ゴスペル～」と題し、ゴスペ

ルディレクターの木村HIRO先生とゴスペルクワイア「HIRO's MASS CHOIR」の皆さんをお招きし、ゴスペルを体感させていただきました。生のゴスペルの迫力に圧倒されてしまいました。本校のPTAでは様々な取組が催され、保護者の皆さんが、活気あふれる活動を楽しまれています。



#### 5 土曜公開授業・学校説明会(12/2)

12月2日(土)、第12回土曜公開授業を実施しました。中学生とその保護者の方々を中心に、78名の皆様にご来校いただき、授業や生徒の様子を熱心にご覧いただきました。どうもありがとうございました。次回は、1月20日(土)に実施いたします。ご来校、心よりお待ちしております。

同日、第5回学校説明会を実施しました。9時30分、11時30分の計2回にわたり説明会を行い、中学生・保護者約400名の参加がありました。

校長挨拶に続き、学校概要・入学者選抜、進路指導・生徒指導に関する説明をさせていただきました。また、土曜公開授業も同時開催でしたので授業や校舎内も見学していただきました。どうもありがとうございました。次回(第6回)は、1月20日(土)に実施します。最終回となりますので、未参加の方は、是非ご参加ください。



#### 6 埼玉県英作文コンテスト(12/13)

10月4日(水)、クレア鴻巣で行われた「埼玉県英作文コンテスト」で、本校から2名の生徒が入賞

しました。北岡未唯さん(1年3組)が6位、レガト恵美里さん(2年1組)が1位です。12月13日(水)、大宮高校で受賞式が行われ、レガトさんは自分の作品を披露しました



#### 7 子供安全見守り講座・ゲートキーパー研修会(12/16)

12月16日、本校記念館にて、よりみち西高(講座)③「子供安全見守り講座・ゲートキーパー研修会」行われました。PTA・後援会・教員あわせて、約20名の参加がありました。

①講師：埼玉県ネットアドバイザー 野々口真由美様

子供のスマートフォンの安全な利用に関する啓発講座として、公共の場所であるインターネットの世界で求められる知識力、判断力、自制力、想像力といったメディアリテラシーなどについて実例を紹介しながら、わかりやすく講義をしていただきました。



② 講師：埼玉県立精神保健福祉センター 相談・自殺対策担当 石田有希様

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる、言わば「命の門番」とも位置付けられるゲートキーパーについて、気づく、見守る、聴く、つなぐといった具体的な対処の仕方を学習させていただきました。